

C-10 乳児服設計に関する基礎的研究(オ5報)

— 乳児服のサイズ設定を目的とした体型分類 —

青山学院女短大。磯谷藤枝 実践女大家政 飯塚幸子
お茶の水女大家政 天野節子 石井万津子

目的：乳児服設計に関する基礎的研究として、オ5報では、乳児服のサイズ設定を目的とし、体型分類を試みる。

方法および結果：資料は、オ1～オ4報で用いたもの同一で、1973年における乳児1016名(男児；727名、女児；589名)の計測値である。研究項目は、身長・体重・胸囲・腰囲・頭囲・腹囲・大腿囲・上腕囲・頸付根囲・胸縦囲・背肩幅・総丈・袖丈・足長の合計14項目である。オ4報においては、相対成長の立場から、3～4か月に主要項目の変移点を観察することができた。そこで今回は、以上の結果に基づき、1～12か月を3か月ごと4月令群に分類し、相隣3月令群間の差の有意性の検定を行った結果、ほとんどの項目において、有意な差が認められた。身長・体重・胸囲・腰囲の基本的4項目の相互の組み合わせによる体型の出現率を推定し、それぞれの出現範囲を求めた。